



No.81 (2015年8月)

特集

# 上野天神祭

## 未来へどう繋げていきますか

ユネスコ無形文化遺産候補である上野天神祭（国指定重要無形民俗文化財）についていろいろな問題が出、将来を含め議論されています。

### 補助金問題

6月26日（金）、上野ふれあいプラザにて地区振興補助金の説明会がありました。説明された内容は、昨年までのだんじり鬼行列運営助成金が廃止され、余野公園つつじ祭り・しまがはら夏まつり・けんずいまつり・青山夏まつり等への補助と同一の地区振興補助金制度となったことでした。従来の助成金に比べ

1. 人件費が補助対象経費から除外されました。
2. 補助率が設けられ今まで100%であったのが27年度は87.5%、3年経過後は50%になること。

でした。

これに対して7月7日、上野文化美術保存会、四鬼会、楼車会連名で市に新しい条例の適用を見直し、従来通りの助成金交付の要望書を提出しました。

7月10日、市より要望書に対する回答がありました。内容は条例等の見直しや従来通りの助成金交付は出来ないとの内容でした。

ただ、今年度に限り、関係地域等が行事催行による収益確保の方策や無償ボランティアの募集など、持続性をもった行

発行:上野西部地区住民自治協議会 総務. 広報. 人権部会  
伊賀市上野福居町(上野西部公民館内)  
<http://www.uenoseibu.com/>



事運営に向けた新しい取り組みをした上で、なお行事実施が困難な場合、激変緩和措置として、今年度は町外から協力応援いただく方への謝礼及びその方々への昼食弁当、お茶代等最小限の食糧費を事業実施に必要なものとして取り扱うとの説明がありました。

7月12日、この回答について上野文化美術保存会の緊急会合をもち、対応を検討しました。

### 人手不足や経費の現状

この補助金問題が大きくなったのは、現在祭町として上野天神祭のだんじり鬼行列を催行しています上野西部地区の13町が人口減少・高齢化に伴い、他の地区のお祭りと同様人手不足に悩んできた背景があります。元々13町は小さな自治会で、例えば某だんじり町（所帯数20）では祭1日あたり必要な人員約70名に対し自町では22名（30%）程度しか手当て出来ません。特に囃子方では23%しか町内のおらず祭囃子の演奏や継承が町外のボランティアに頼っている状況です。特に囃子の継承は祭の根幹の問題であり、このまま続けていけるのか強い危

機感があります。またボランティアというものの囃子の練習があり、ダンジリ曳行も2日間かつ長時間お願いすることから常識的に全くの無料では出来ず、最低限の謝礼・弁当・お茶が必要になっています。その上、経験が必要な囃子方等については誰でも良いとは言えず経験ある方をお願いせざるを得ません。また祭りを運営する経費をみますと別の町の昨年の例からしますと町外の人の人件費・修繕費・保険料等合わせて計844,000円で、その内約77%を市からの助成金に頼っています。不足分は町民にてこれまで負担してきましたが毎年増えてきて自治会活動が圧迫されてきています。この状況の下「市長と語る会」が開催されました。

### 市長と語る会

7月12日、上野西部地区市民センターで市長や各部長が出席して「市長と語る会」が開催されました。主な発言は次の通りでした。

- 西部) 上野天神祭は400年の歴史がありますが、補助金の件では他と同列に扱われている。
- 西) 現在幕を復元新調しており、来年3月頃完成予定です。市の協力に感謝しています。昔、25日が日曜日になった時は本当に見物の人が多かった。祭りを土日にする観光的にはプラスです。
- 市) だんじりに乗りたかった。曳き手をどう集めるかが問題。  
経済的な面等では会議所にも頑張ってもらいたい。  
文化財として祭が地域活性化に寄与して欲しい。  
京都祇園祭りは支援者を拡げている。外部の人に開放する(参加していただく)等、祭町は覚悟を持ってあたって欲しい。  
祭町が祭で直接利益を上げる事を考えてはどうか。いがぶら事業(に参加して)はどうか。
- 西) 祭町の中には子どもが全くいない町



市長と語る会の様子

もある。又祭町の金銭的負担にも限度がある。

- 市) SNSを使って広く呼び掛けてはどうか。
- 西) 伊賀市を盛り上げるツールとして天神祭を位置づけて欲しい。
- 西) ポスター等にユネスコ無形文化遺産登録候補の文字を入れて欲しい。

上野天神祭の話に大きく時間が割かれてましたが、それ以外の話として次の内容について話し合いが行われました。

- ・ミラノ万博とその後の対応について
- ・観光客のおもてなしと下水の問題
- ・芭蕉さん関係の観光について
- ・線引きについて
- ・市民センターの自治センター化について

尚、下水の問題について市から極小規模の公共下水道設置の研究を行っているとの説明がありました。

### ユネスコ無形文化遺産登録

当初より1年遅れましたが上野天神祭のダンジリ行事は来年11月頃にユネスコ委員会にて登録の可否について審議される予定です。市も10日の回答の中で「ユネスコの文化遺産への登録が予定されていることもあり、市として支援のあり方について調査検討を進めていきたいと考えています。」と述べています。また市長と語る会にても同様の発言がされました。一方祭町にもその際は今までとは異なる新しい取組が求められています。